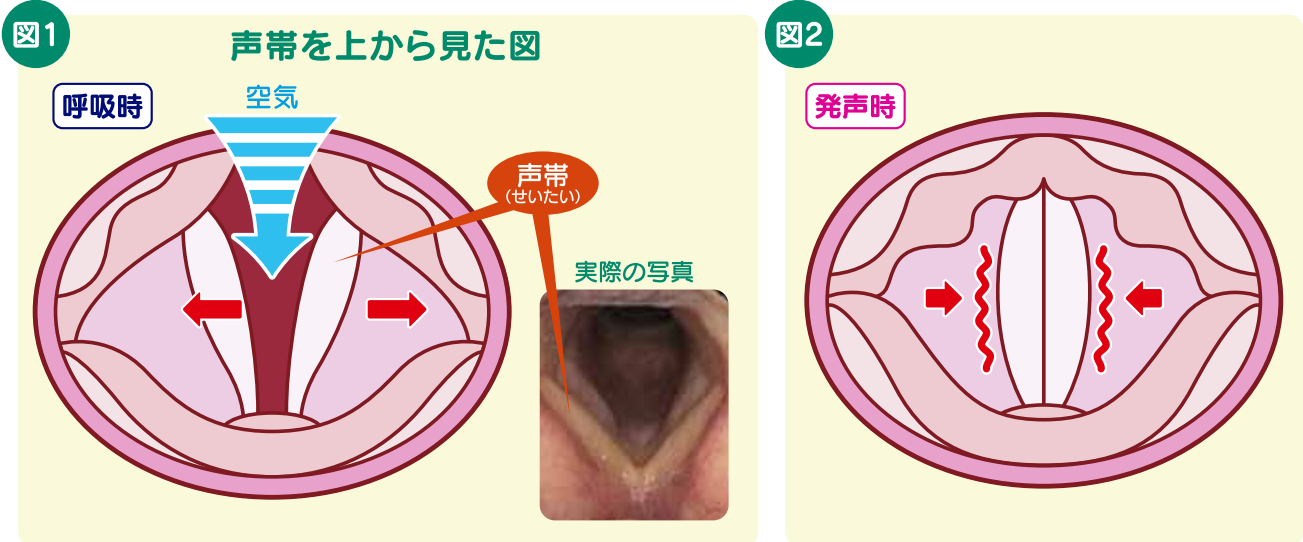




## 今回は、声のかすれに関して

ガラガラ声やしわがれ声、弱々しい声など、普段と異なる声のかすれの症状で耳鼻いんこう科を受診する患者さんは多くいます。

私たちの喉(のど)には左右に声帯という帯のような組織があります(図1、スマイル通信8にも簡単な図があります)。声をださないで呼吸をしているときには、声帯は左右に開いて空気を通していきます。



声をだすときは、左右の声帯が、中心でぶつかりながら振動することで、声をだしています(図2)。この声帯に何らかの異常が起こることによって、声のかすれが起こります。医学用語で嗄声(させい)といいます。

声のかすれの原因で一番多いのは、**急性声帯炎**です。大声を出し、喉を酷使したり、風邪のウイルスなどが声帯に感染したりすると、声帯が炎症し、声がかすれます。タバコ、過度のお酒も声帯に負担がかかります。風邪気味の日、煙草を吸いながらお酒を飲んで、大声でカラオケを歌う、これは、声帯にとっての大きな負担ですね。

治すには、声の安静(しゃべらない事)が必要です。日常生活の中で全くしゃべらないことは、余程意思が強くないとできませんので、私は“マスクをしてしゃべらない事を意識してください”、と話しています。

## 声の安静をしているのに、声のかすれが続く場合は、他の病気が考えられます。

**声帯ポリープ**(裏面図3)：声を使う職業の方(保育園や学校の先生など)に多く、発声法が悪い(喉に力を入れる発声)人、喫煙する人などは声帯ポリープがしやすい

傾向があります。炎症によって声帯の粘膜が充血し、それでも声を酷使し続けると血腫(血豆のようなもの)ができます。ここで声を使わなければ、血腫は自然によくなりますが、声を使い続けるとポリープになってしまいます。ポリープが邪魔をして声帯がうまく閉じず、振動に悪影響を与えることで嗄声が起こります。



**声帯結節**(図4):声帯ポリープと似ていますが、声帯に機械的な刺激が長く続くことで、声帯の粘膜に線維化が起り結節となります。鉛筆やペンを長く握っているとできる“ペンダコ”のようなものが声帯にできると考えるとわかりやすいと思います。結節ができてその部分が硬くなると、振動がうまくできなくなり、声のかすれが起こります。

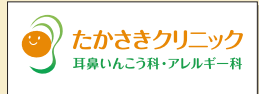
声帯ポリープ、声帯結節ともに手術が必要になる場合もあります。

他、声がすれの原因となる声帯の病気には、声帯の筋肉が萎縮する**声帯萎縮**(いしゅく)、声帯を動かす神経が麻痺する**反回神経麻痺**、**喉頭がん**、などがあります(別の機会に紹介します)。

これらの病気について、詳しく診察するには、細い内視鏡を使つての診察が必要です。詳しい診察を希望される方は、お気軽に相談してください。

### 当院指定の駐車場に関して

当院指定駐車場は、当院横2台、吉田駐車場2,3,4,5,6,7,19,20,21番の9台、大野方向変換場駐車場(旧市営駐車場)1,2,4,5,14番の5台の合計16台分です。当院の看板を立てています。他の場所に駐車しないように、ご協力お願いします。



### ● アクセス



### ● 駐車場マップ



診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00～午後12:30 受付は午後12:15まで	☺	☺	☺	☺	☺	☺
午後2:30～午後6:00 受付は午後5:45まで	☺	☺	☺	☺	☺	☺

《日曜・祝日 休診》

〒857-0136 長崎県佐世保市田原町17-10

TEL.0956-76-7379 FAX.0956-76-7363

たかさきクリニック <http://takasaki-clinic.org> HPはこちら→



当日の順番予約と  
診察待合状況の  
確認はこちらから→

